

## 2008年度協約改訂交渉スタート！

- 基本協約を直ちに締結せよ！
- 加藤誠二さんの懲戒解雇を撤回し早期に職場復帰させること！
- リニア中央新幹線の具体的計画について労働組合と協議せよ！
- 年間20日の年休取得ができる適正要員を配置せよ！
- 盛夏時の乗務員のネクタイ・上着は廃止せよ！
- 退職手当は等級経過・勤続年数を加味したポイントにせよ！
- 専任社員の雇用条件・労働条件を改善せよ！

本部は8月22日、2008年度協約改訂に向け第1回団体交渉を行いました。

### 【J R 東海労要求主旨】

昨年9月27日、会社はJ R 東海労の組合員である加藤誠二さんに対して「内部文書を窃取した」として不当にも懲戒解雇処分を発令した。J R 東海労を結成してから続くJ R 東海労敵視の極めて不当な労務施策の一貫である。それは、労使関係の前提をなす基本協約の締結を現在においても拒否し続けていることにも現れている。このような労働組合を敵視し無視する会社の姿勢は不当労働行為以外の何ものでもなく、裁判や労働委員会での係争にまで発展している。J R 東海労はこれまでもそうであるが、一刻も早い正常な労使関係を望むものである。あわせて安全問題、専任社員の雇用条件をはじめとした労働条件に関して以下の通り申し入れるので誠意ある回答をすること。

### 【会社の基本的な姿勢】（要旨）

当社を取り巻く経済状況や景気動向について、内閣府の8月月例経済報告による景気が事実上後退局面に入ったことが示されている。また原材料価格等の高騰による物価上昇等により内需の柱である個人消費は弱い動きが続くなか、我が国の景気もさらに下ブレするリスクが存在するとの見通しである。

対抗輸送機関である航空各社においては、原油高を受け運行路線の選択と集中を進める一方、羽田空港の再拡張工事が着々と進められ楽観できない状況である。

当社の経営状況は、輸送動向は新幹線、在来線共に堅調に推移しているが、経営環境は今後厳しくなっていくことが予想されており、通年堅調に業績予想としては新幹線、在来線共に運輸収入ベースで対前年で減収となることを見込んでいる。

協約改訂交渉は、厳しい経営環境も踏まえ、相当高い水準に到達している労働条件について世間レベルから遊離していないかも検証していくことが大切である。

**社員に優しい会社、働きがいのある労働条件を実現するために  
職場からのたたかいを強化しよう！**

